

危険物等海上運送基準検討会
第12回 固体ばら積み貨物査定検討ワーキンググループ 議事要旨

1. 日時： 令和3年3月29日（月）10:00～12:00
2. 場所： リモート会議
3. 出席者：
（委員） 太田委員（座長）、飯島委員、岡委員、濱田委員、
森田委員、八木委員
（事務局） 川村危険物輸送対策室長、坪井課長補佐、藤倉専門官
（説明者） 中央電気工業株式会社、J X金属環境株式会社

4. 議事

- （1）溶融スラグ（種別Cであるもの）の査定について
- （2）溶融スラグ（種別A&Bであるもの）の査定について

5. 議事概要

IMSBCコード・特殊貨物船舶運送規則未掲載貨物の性状評価及び運送要件を決定するにあたり、申請者の説明及び質疑応答のあと、技術的及び専門的観点から検討を行った。

（1）溶融スラグ（種別Cであるもの）

審議の概要は以下のとおり。

資料2-3について、以下の修正を加えることで合意した。

- ・ 「5.4 積荷役時の要件」について、載貨係数の値に幅があり、High-density solid bulk cargoの閾値（IMSBCコード1.7定義）をまたぐ可能性があることから、「貨物の密度が非常に大きいため」を「載貨係数が0.56 m³/t以下の場合」に変更する。

（2）溶融スラグ（種別A&Bであるもの）

審議の概要は以下のとおり。

資料3-3について、以下の修正を加えることで合意した。

- ・ 「5.3 天候に係る要件」について、液状化の危険性は5.3.1等の規定により必要な管理がされ他に行うべき船上作業は想定されないこと及び水分の増加に起因する液状化以外の危険性の増大は想定されないこと

を確認したことから、「積み荷前、積み荷役中及び航海中は実行可能な限り乾いた状態を維持すること。」を削除する。

<配付資料>

出席者名簿

資料1 固体ばら積み貨物査定検討ワーキンググループの設置について（案）

資料2-1 溶融スラグ（種別Cであるもの）の性状について

資料2-2 溶融スラグ（種別Cであるもの）の海上輸送について

資料2-3 IMSBCコードに記載されていない貨物の性質及び運送条件（案）

資料3-1 溶融スラグ（種別A&Bであるもの）の性状について

資料3-2 溶融スラグ（種別A&Bであるもの）の海上輸送について

資料3-3 IMSBCコードに記載されていない貨物の性質及び運送条件（案）

以上